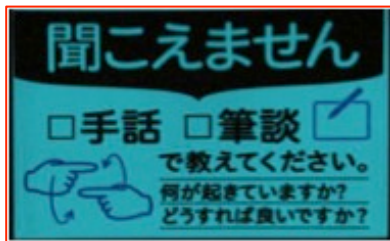


南海トラフに  
備えましょう。  
死亡者 32 万人  
→5 万人に。



災害が起きたとき、一番困るのは聴覚障害者、手話通訳、要約筆記等を探すことです。障害が見えないからです。



暗いところで。



明るいところで。

・目印としてはハンチ、バンダナなどもありますが、欠点は暗い夜間など暗いところでは使えないことです。

非常口などに使っている蓄光剤を塗ればどうでしょうか。超輝度蓄光剤もあります。こちらは暗くなった瞬間から毎日 10 時間光ります。

ダサイ、恥ずかしい、なくても大丈夫という声もあります。いいのです。

280 円は高いという声も。死んでもかまわなければ。命には代えられません。

**「自分の身は自分で守る、他の人は頼れない」**という自覚が必要です。

「ヘルプカード」はいいアイデアと思います。夜間も使えたら、もっと良いでしょう。一人でも多くの命を助けましょう。人命、危険など命に関わる物には超輝度蓄光剤を塗ったらどうでしょうか。昼間はもちろん、夜間も使えます。



議会や行政に提案することをお勧めいたします。

減災につながります。

NPO法人 ベターコミュニケーション研究会 (NPO-BCS)

164-0014中野区南台2-51-7-707号 TEL/FAX03-3380-3324

[equal@bcs33.com](mailto:equal@bcs33.com)

<http://www.bcs33.com/>